

Premium Under Coating

EXTRA

万能アクアシーラー

戸建て住宅・アパート集合住宅の新設・改修に

- ・水系二液タイプ
 - ・密着性良好
 - ・吸い込み防止
 - ・鉄部の防錆性
 - ・無機系サイディングボードにも塗装可能
- ※クリヤーは除きます

素材適応表

色相	無機系素材							サイディングボード				鉄・非鉄金属・その他							屋根		
	コンクリート・モルタル	けい酸カルシウム板①	プラスチックボード	ALC板②	押出成形板	GRC・PC板	磁器タイル・ホーロー	通常塗装板	ふっ素塗装板	無機系コーティング	光触媒コーティング③	一般鉄部	ガルバリウム鋼板	アルミニウム	溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)④	電気亜鉛めっき鋼板	硬質塩ビ樹脂	FRP⑤	木部⑥	新生屋根	鋼板(カラータタン・折板)⑦
白	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
クリヤー	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	×	○	○	×	—	○	○	○	○	—

○：最適

△：条件付きで塗装可能

×：不適

—：一般的には塗装しない

①けい酸カルシウム板へ塗装する場合、1回塗装し、研磨を行った後、2回目の塗装を行うと仕上がりが外観が向上します。②ALC板は、弾性フィラー・軸元5号Sなど、下地調整材で巣穴を埋めた後、塗装を行って下さい。③光触媒コーティングへのクリヤーは塗装可能ですが、紫外線透過の面から、白を推奨します。④溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)につきましては、弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー(エポテイ)をご使用下さい。⑤FRPは硬質材のみです。⑥新設木部は、ヤニを削り取り、電気ゴテ焼きを行った後、溶剤で拭き取ってから塗装を行って下さい。⑦新品のカラータタンには塗装しないで下さい。

EXTRA 万能アクアシーラー

塗料性状

項目		内容		
色相		白	クリヤー	
容姿		二液性	二液性	
容量		15kgセット 主剤14kg 硬化剤1kg	15kgセット 主剤14kg 硬化剤1kg	
密度(23°C)	塗料	1.20 ± 0.05	1.00 ± 0.05	
	揮発分	1.00	1.00	
粘度(23°C)		50~80KU	50~70KU	
加熱残分		50±3%	30±3%	
標準膜厚		30μm/回	-	
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	3時間	1時間	30分
	半硬化	24時間	8時間	6時間
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

注) 上記、塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下		
調合法(重量比)		白	クリヤー	
		主剤14部、硬化剤1部	主剤14部、硬化剤1部	
熟成時間		約30分放置		
可使時間(20°C)		6時間		
希釈剤		水道水		
塗装方法	刷毛・ローラー	希釈率	0~10%	0~10%
		標準使用量	0.10~0.12kg/m ² /回	0.10~0.12kg/m ² /回
		標準膜厚	30μm/回	-
	エアレス※1	ウエット管理膜厚	75~100μm/回	-
		希釈率	0~20%	0~20%
		標準使用量	0.12~0.15kg/m ² /回	0.12~0.15kg/m ² /回
塗装間隔	標準膜厚	30μm/回	-	
	ウエット管理膜厚	75~100μm/回	-	
	温度	5°C	20°C	30°C
塗装間隔	最小(弱溶剤)※2	48時間	16時間	12時間
	最小(水系)※2	16時間	4時間	3時間
	最大	14日	7日	7日

注) 標準使用量は実測値に基づき算出しています。

また被塗物の形状などにより標準使用量は変動します。

※1 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

※2 上塗りを弱溶剤とした場合の最小時間、水系での塗り重ね最小時間です。

標準塗装仕様

工程		商品名	塗装方法	希釈率(%) (重量比)	塗装回数	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20°C)
1	素地 ごしらえ	無機 金属	ワイヤブラシやサンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。				
	新設	無機 金属	サンドペーパーや電動工具などを用いて、目粗しおよび汚れや付着物を除去する。				
1	下地調整	無機 金属	ワイヤブラシやサンドペーパーなどを用いて、汚れや付着物を除去する。活膜がある場合は目粗しを行う。				
	塗り替え	無機 金属	サンドペーパーや電動工具などを用いて、目粗しおよび汚れや付着物を除去し、油脂分はシンナーを用いて除去する。劣化塗膜・脆弱な塗膜は除去する。				
2	下塗り	EXTRA 万能アクアシーラー 白	刷毛・ローラー	0~10	1~2※1	0.10~0.12	4時間以上※3
		(又は)	エアレス	0~20		0.12~0.15	7日以内
		EXTRA 万能アクアシーラー クリヤー	刷毛・ローラー	0~10	1~2※2	0.10~0.12	4時間以上※3
			エアレス	0~20		0.12~0.15	7日以内
3	水系上塗り仕様	EXTRA アクアシリコン EXTRA アクアフツ	各種上塗りカタログをご参照下さい。				
		EXTRA スマイルシリコン EXTRA スマイルフツ					
	弱溶剤上塗り仕様						

注1) コンクリート・モルタルは、含水率10%以下、pH10以下で実施して下さい。
注2) 溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)につきましては、弱溶剤系エポキシプライマー(エポティ)をご使用下さい。
注3) 木部のヤニは削り取り、電気コテ焼きを実施して、溶剤で拭き取して下さい。
注4) 屋根の場合は、縁切りを実施して下さい。
注5) その他の素材の場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
注6) 新設カラートタンには使用できません。
注7) FRP・硬質塩ビ樹脂は、サンドペーパーなどを用いて、目粗しを行って下さい。
注8) ALC板の塗装は、果穴を下地調整材で埋めてから塗装して下さい。
直接、塗装するのは避けて下さい。

※1 さびの発生が著しい場合は、素地調整後、下塗りを2回塗装して下さい。
※2 吸い込みが著しい素材の場合は、下塗りを2回塗装して下さい。
※3 上塗りが弱溶剤の場合の塗装間隔は16時間以上です。

■施工上の注意

- 1) 十分攪拌し、均一な塗料状態にしてから塗装して下さい。
- 2) 希釈は、必ず水道水を使用して下さい。
- 3) 結露などで塗装面が湿っている場合は、塗装しないで下さい。
- 4) 乾燥過程で降雨や結露などの水分の影響を受けると白化することがありますので、この場合は軽く表面を研磨するなどの処理をして下さい。
- 5) 塗装環境が気温5°C以下、湿度85%以上の場合は、塗装しないで下さい。
- 6) コンクリート・モルタルの養生は、十分に行って下さい(pH10以下、含水率10%以下)。
- 7) 油・ワックスなどが付着している場合は、完全に除去してから塗装して下さい。
- 8) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・その他の有害な付着物は、完全に除去して下さい。
- 9) 塗装間隔が長くなると密着不良になりますので、規定以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどで研磨し、さらにウエス拭きしてから塗装して下さい。
- 10) 吸い込み止めとして塗装する場合は、希釈率を10~30%目安にして下さい。
- 11) 旧塗膜に弱溶剤一液形塗料が使用されている場合、リフティングを生じる可能性があります。
- 12) 軟質のけい酸カルシウム板には、「クリヤー」を使用して下さい。
- 13) 溶融亜鉛めっき鋼板(ドブ付け)につきましては、弱溶剤系エポキシプライマー(エポティ)をご使用下さい。
- 14) 吸い込みの著しい素材の場合、一回塗りでは付着性が不十分な場合がありますので、2~3回塗装して下さい。
- 15) 木部は一旦、塗装・乾燥後にケバ立ちを研磨除去し、再度塗装して下さい。

関連法規

危険物表示	主剤：一、硬化剤：第4類第2石油類
有機溶剤区分	-
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	-

■使用上の注意

取扱いは下記注意事項を守って下さい。※詳細内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱い上の注意

1. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 目に入った時は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時は、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれた時は、砂等を散布したのち処理して下さい。

①

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。※本製品の内容は予告なく変更することがあります。
※本チラシは、製品を適正にご使用頂くための条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。
※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (廣喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>